

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
工業力学及び演習	後期	隔週水	1	1 時限 9:10~10:50	若干名
		毎週水	2		
環境の科学		木	3		
生命の科学		金	2		
英語Ⅱ		火	2		
MATLAB プログラミング		水	4	2 時限 10:55~12:35	
民法B (債権)		月	2	3 時限 13:20~15:00	
マーケティング		月	4	4 時限 15:05~16:45	
テクノロジーと音楽		火	2	5 時限 16:50~18:30	
言語心理学 (学習・言語心理学Ⅱ)		水	2		
心理学概論Ⅱ	木	2			

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回(ただし、「工業力学及び演習」は全21回)の予定です。

※「工業力学及び演習」は2限続きの授業となっており、1限は隔週(月2回)、2限のみの週は演習授業の予定となっています。

※授業は9月15日(金)から開始します。一部変則な取扱いがありますので注意してください。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和5年8月1日(火)～8月21日(月) 必着
- (2) 申込先
〒369-0293
埼玉県深谷市普濟寺1690
埼玉工業大学 教務課 リカレント係
TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939
E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。
①郵便番号・住所
②氏名(フリガナ)
③年齢(令和5年4月1日現在)・性別
④電話番号
⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
授業は原則として対面で実施します。
キャンパス内では本学が定める感染対策にご協力ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	工業力学及び演習 (政木 清孝 教授)	工業力学は機械工学科で学ぶ4大力学(材料力学、流体力学、熱力学、機械力学)の基礎として最も重要な科目として位置づけられている。 様々な実問題を、単純な力のつり合いや運動に関する問題に置き換えて解くことを目的とし、力や運動の扱い方、つりあう力の解析方法、力の作用のもとで起こる運動の記述方法、そして物体に力が作用するときの運動について講義する。
2	環境の科学 (有谷 博文 教授)	いわゆる「環境問題」の基本と考え方、取り組み方などを、専門分野も交えつつ解説します。身近な「環境」の問題(汚染問題、省エネルギー、自然エネルギー利用、リサイクルなど)、および国際的な「地球環境」の問題(温暖化ガス抑制、資源枯渇、食糧問題など)に分けて様々なトピックスを交えて講義します。それらはみな生活と直接結びついているので、いかにして環境問題を考えるか、生活の中でどのように役立てられるかを考えます。
3	生命の科学 (石川 正英 教授 熊澤 隆 教授 秋田 祐介 准教授)	生命科学は、生物の持つ特質に関する研究成果を統合するとともに、その意義を考えヒトとのかかわりを理解するための学問分野である。本講義は、生命科学の先端研究や技術を、幅広く「トピックステーマ」として紹介する。
4	英語Ⅱ (坂梨 健史郎 教授)	「英語Ⅱ」では「英語Ⅰ」の学習内容を踏まえ、大学で工学を学ぶ上で必要となる英語力の基礎をさらに学びます。教材は引き続きプリント及び教科書を使用します。前者では文法の確認と語彙の増強を図ります。後者では長文読解を通して英語の文の組み立てや段落構成について理解を深めます。また練習問題を活用した英作文の練習をします。さらに発音練習や聴き取りの練習をします。

5	MATLAB プログラミング (高橋 俊典 講師)	<p>数値計算ソフトウェアである MATLAB の使い方について勉強します。数学、数値計算、プログラミングなどについての予備知識や経験は不要です。</p> <p>1 人 1 台のコンピュータを使って実際に実行させながら、面倒な計算過程をソフトウェアに任せることのできるプログラミングを体験学習します。</p>
6	民法 B (債権) (李 艶紅 准教授)	<p>実社会で起きた事案、または、過去の裁判例をとりあげて、そうした事例のなかで民法という法律がどのように機能・解釈されているのかを勉強するなかで、民法の法規範を学び、民法という法規制のあり方を考える。</p>
7	マーケティング (村山 要司 教授)	<p>ニーズの多様化や個性化、市場や技術の成熟化、競争のグローバル化が進む中、経営戦略のあり方を決定づける手法としてマーケティングの重要度は高まっている。本講義では、マーケティングの戦略手法を知り、ビジネス活動と結びつけて、その基本を理解するとともに、代表的なリサーチ、データ分析手法についても学ぶ。</p>
8	テクノロジーと音楽 (中川 善裕 教授)	<p>テクノロジーの進歩は音楽に様々な影響を与えてきた。では音楽家たちはテクノロジーの進歩にどんな可能性を見出したのだろうか？ また実際にテクノロジーは音楽にどんな変化をもたらしたのか？ 20 世紀以降の電子音楽、具体音楽、テープ音楽、コンピュータ音楽などの歴史を学び、それらの疑問について考察してゆく。</p>
9	言語心理学 (学習・言語心理学Ⅱ) (河原 哲雄 教授)	<p>認知科学の主要な研究領域の一つである、人間の言語とそのモデル化について、基本的な研究方法と研究成果を学ぶ。言語心理学・認知心理学と、その隣接科学における実験的研究を中心に概観するが、生成文法理論や認知言語学といった言語学理論や、工学的な自然言語処理モデルにも触れる。</p>
10	心理学概論Ⅱ (三浦 和夫 教授)	<p>心理学概論Ⅱでは、主に臨床心理学とその他心理臨床関連領域について概説する。取り上げる領域は、歴史、感情、発達、記憶、臨床心理及び家族臨床心理学・深層心理学である。</p>